



上川郡中央医師会学術講演会

上川郡中央医師会
北海道医報通信員 水野清司

上川郡中央医師会では、会員の生涯研修事業の一環として学術講演会を開催した。

日時 平成15年10月25日(土)
場所 旭川パレスホテル
主催 上川郡中央医師会学術部
後援 ファイザー株式会社
演題 脳卒中診療と地域連携
講師 旭川赤十字病院

副院長 牧野 憲一先生

当日は多数の会員の参加があり、藤原学術担当理事が座長で講演会が始められた。

脳卒中は癌、心筋梗塞に次いでわが国の死亡原因の第3位(平成12年)を占め、現代社会の中心をなす中高年齢層を襲うことから社会遺失益の高い疾患とされている。

脳卒中初期の診断と治療を最適に迅速に行うため、脳卒中に対する新しい救急医療体制の確立を目指し、地域医療の連携が図られている。

脳卒中の急性期(発症直後から2～4週間)の診断、治療、慢性期(回復期、維持期)の治療、退院してからの在宅ケア、施設利用等これまでの長年にわたって数多くの患者さんの診療治療を行ってきた先生の経験に基づいた治療成績結果について、また、旭川赤十字病院の救急医療の現状に

ついて言及され、奉仕を基本精神とする赤十字病院の理念を堅持し今後も救急医療はもとより、病院自体も診療体制の充実を図り、地域に信頼される医療を提供できる病院としての役割を担ってゆきたいと講演された。

豊富なデータをもとにスライドを多用され、理解し易く解説され実地医家にとっても極めて有益な学術講演会であった。

質疑応答も多く、講演会を盛況のうちに終わることができた。さらにその後の懇親会では椎名会長の謝辞の後、講演会では聞けなかった興味深い話題も出て会員共々和気あいあいのうちに終了した。

牧野先生にはご多忙の中、私たちのため講演の時間を割いていただきましたことを心からお礼申し上げます。



お知らせ

第2回「日本医師会・介護支援専門員技能向上講座」 受講者募集

目 的 介護保険制度を介護の現場で支える「介護支援専門員」のアセスメント能力のレベルアップを目指し、「高齢者の医療面をベースに、介護面、生活面からの包括的かつ的確なアセスメント」(①的確な利用者ニーズの把握、②的確な介護サービスの調整、③継続的なモニタリング)を行うことのできるよう、介護支援の技能を向上させることを目的とします。講座修了後も、ケアマネジメントに関する最新の各種情報の提供や受講者間の情報交流等の機会を提供する「修了者を中心としたネットワーク」を作り、受講者のフォローアップも目指しています。

- 1. 主 催** 日本医師会
- 2. 対 象 者** 介護支援専門員
- 3. 定 員** 500名
- 4. 締 切 り** 平成15年12月31日(先着順、定員になり次第締切ります。)
- 5. 修業年限** 1年
- 6. 受講期間** 平成16年1月～12月
- 7. 教育方法** 通信制の9教科と「スクーリング方式の講習会」(全3回：各日曜日・1日間 いずれも東京で開催)
- 8. 修了証の発行** 一定の要件を満たした受講者に対し、修了証を発行いたします。
- 9. 修了認定の審査方法** ①演習問題すべてに7割以上解答する。
②講習会に2回以上出席する。
- 10. 受講料** 年間84,000円(税込み)
- 11. 申込方法** 氏名、年齢、性別、連絡先住所、電話番号、FAX番号を明記の上、下記宛にお申込みください。
受付後、順次「受講手続き関係書類」・「受講料振込書」を送付いたします。
- 12. 申込み・問合せ先**
日本医師会・介護支援専門員技能向上講座係
〒113-8621
東京都文京区本駒込2-28-16
・FAX 03-3946-2138
・E-mail : care@jmari.med.or.jp
※問合せ先
日本医師会総合政策研究機構
TEL 03-3942-6141

※テキスト代、講習会費用等は含みますが、「修了者を中心としたネットワーク」の費用は含みません。

お知らせ

平成15年度北海道母子保健研修会 開催のご案内

1. 目的

わが国の母子保健対策は、昭和40年に制定された母子保健法の理念に基づき、健康診査や保健指導をはじめとし、様々な施策が体系的に整備充実されたことから乳幼児死亡率が世界最低になるなど、母子保健の水準は著しく向上しています。

しかし、一方で、少子化・核家族化、女性の社会進出の増加は、母と子を取り巻く環境に大きな影響を与えており、育児の孤立化、密室化、親子のふれあいの希薄化などによる育児不安や児童虐待、思春期の逸脱行動などが社会問題となっています。

このようなことから、「健やか親子21」を踏まえ、母子保健の新たな課題に対応するため乳幼児健診の相談体制のあり方、子どもの心と身体の健やかな発育・発達や育児を支えるための相談従事者の関わり方などを学び、地域の取り組みについて情報交換する場として本研修会を開催します。

2. 主催

北海道・札幌市・社団法人日本家族計画協会・社団法人全国保健センター連合会・社団法人母子保健推進会議

3. 後援

厚生労働省・社団法人日本助産師会・社団法人北海道医師会・社団法人札幌市医師会・社団法人北海道看護協会・社団法人北海道保健センター連絡協議会・全国母子保健推進員連絡協議会(申請中含む)

4. 開催日時および開催場所

(1)開催日時 平成15年12月4日(木)11:00~16:30 (10:40から受付)

(2)開催場所 札幌医科大学臨床大講堂 住所:札幌市中央区南1条西16丁目291番地

11:00~11:10 開会挨拶 北海道保健福祉部子ども未来づくり推進室

11:10~12:00 行政説明 厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

「母子保健の動向」(仮称)

13:00~14:30 基調講演

「これからの母子保健~子どもの心と身体の健やかな成長を支えるために~」

講師 (社)日本小児保健協会長 前川 喜平氏

14:30~14:40 休憩

14:40~16:20 シンポジウム

「育児不安の軽減と子どもの心と身体の健やかな成長を支えるために」

座長 北海道子ども未来づくり推進室医療参事 田中 宏之

(社)日本家族計画協会リプロ・ヘルス推進事業本部長 小長井春雄

助言 (社)日本小児保健協会長 前川 喜平氏

1 小児科の立場から

「出産前小児保健指導事業の取り組み~事業評価からみる育児の現状~」

函館中央病院副院長 山田 豊氏

2 産婦人科の立場から

「女性外来における思春期の生と性~子どもや子育てを知らない青年たち~」

札幌医科大学医学部産婦人科 藤井 美穂氏

3 地域保健の立場から

「保健と医療の連携による育児支援ネットワーク事業の取り組み」

札幌市保健師

*各シンポジストのテーマは変更となる場合があります。

16:20~16:30 閉会挨拶 札幌市保健福祉局健康衛生部

★申込みおよび問い合わせ先

北海道保健福祉部子ども未来づくり推進室 担当：栗原

電話：011-231-4111 (内線25-770)

FAX：011-232-4240

E-mail：kurihara.namiko@pref.hokkaido.jp

お知らせ

“Floor Seminar”開催のご案内

札幌医科大学医学部—Floor Seminar—を開催いたします。

札幌医大の若い研究者が行っている最先端の研究を分かりやすく解説します。多くの先生のご来聴をお待ちしています。

講演日	演者	講演タイトル
12月8日	深尾 充宏(第1生理学)	血管内皮依存性過分極反応の解明とその生理的役割内皮由来過分極因子(EDHF)は存在するのか?
平成16年 1月19日	山陰 道明(麻酔科)	気道平滑筋収縮弛緩機構に及ぼす周術期環境変化の影響
2月9日	田中 裕士(第3内科)	気道アレルギー疾患における新規治療方法の確立を目指して
3月8日	豊田 実(第1内科)	エピジェネティクスを利用したがんの診断と治療

問い合わせ先：〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目

札幌医科大学附属がん研究所分子病理病態学部門 三高俊広

電話：011-611-2111 内線2390 E-mail：tmitaka@sapmed.ac.jp